

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人仙道兵太郎の上告趣意は、憲法違反を主張するが、所論のごとき事実があるとしても、これを以て残虐な刑罰を科したものであるというべからざることは、すでにしばしば判例の示したところである（判例集二巻七号七七七頁）。

よつて刑訴四〇八条、により裁判官全員一致の意見で主文のとおり判決する。

昭和二六年十一月二二日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野	毅
裁判官	沢	田	竹 治 郎
裁判官	斎	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎